

掃海艇「すがしま」来港 募集対象者へ特別公開



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、8月2日（日）新潟市の新潟西港において掃海艇「すがしま」の特別公開を行いました。これは、新型コロナウイルスの影響で艦艇広報が中止となる中、訓練で寄港した「すがしま」からの提案により、同日の一日限定で人数を定め、主に募集対象者に対し特別公開を行ったものです。

当日は梅雨明けの青空が広がる中、各地域事務所広報官の案内で、約100人の参加者が「すがしま」を訪れました。参加者の中には約100km離れた柏崎地域から1時間以上かけて訪れた方もおり、今年度初めての艦艇広報への期待の高さが見られました。受付での検温、体調確認とともに、乗船前の手指消毒が行われ、少人数のグループに分かれソーシャルディスタンスを確保し、特別公開を開始しました。



参加者は乗組員に案内され、甲板から船室、艦橋などを見学し、掃海艇の特徴などの説明を受けました。掃海艇は機雷処理の任務にあたることから、磁力の発生を抑えるため船体や機関部が木材、アルミ、銅で構成されていることを聞くと、実際に触って木材の感触を確かめる参加者も見られました。



その後、パネル等を用いての海上自衛隊の編成、活動紹介とともに「すがしま」の機雷処理任務等の説明を受けるなど、参加者は約1時間半の特別公開を堪能していました。採用試験受験予定の参加者は、「初めて掃海艇を見学し、乗組員の方とお話できて勉強になりました。また、災害派遣での活動も聞いて感銘を受けました」と感想を述べていました。

新潟地本は、今後も艦艇広報を通じて海上自衛隊に対する理解を深めるとともに、志願者の獲得に繋げていきます。